



## “教えない授業”？ ～教職員研修会より～

夏休みには四日市市教育委員会が主催する教職員対象の研修会がたくさん開催されます。その中に、「教えない授業」（岐阜聖徳学園大学 玉置教授）という講座がありました。

私（校長）の中高生時代は、「<sup>1</sup><sup>1</sup><sup>92</sup>いい国つくろう鎌倉幕府」（鎌倉幕府成立1192年）といった語呂合わせで暗記することが流行りましたが、今はそんな勉強方法はしなくなったように思います。県立高校の入試でも「大化の改新は何年？」といったような問題は出題されません。これは“学ぶ”ということが単に“知識を詰め込む”ことから、“学んだことを活用できる力をつける”ことなどに、学校教育で重視する学力観が変わってきたからです。



それにもない、学校の授業形態も変わろうとしています。これまでは教師が教室の前に立った一斉授業が当たり前でしたが、今は、小グループでの“学び合い”を多く取り入れた授業や、教師主導でなく、生徒の自主的な学び合いに教師は“調整役(コーディネーター)”として参加する授業(「教えない授業」)などを取り入れるべきとされています。つまり、「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」がより重視され、さらに ICT 機器の積極的な

活用など、教師の授業に対する意識改革が必要となってきました。

さて、このように学校教育が変わってきた中、今年も4月に小6・中3を対象とした全国学力・学習状況調査が行われました。本校の結果をお伝えします。

## 全国学力・学習状況調査からみる本校生徒の傾向（3年生）

### 【国語】

本校の平均正答率は、全国・三重県より約3%上回っています。

学習指導要領の領域「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」については全国・三重県の平均正答率を上回っています。一方「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関しては三重県の平均正答率を上回っていますが、全国の平均正答率を下回りました。思考力・判断力・表現力の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」についてはすべての領域で全国・三重県の平均正答率を上回っています。



### 【数学】

本校の平均正答率は、全国・三重県と同等です。

学習指導要領の領域「数と式」「図形」については全国・三重県の平均正答率より大きく上回っています。一方で「関数」については、全国・三重県の平均正答率とほぼ等し

く、「データの活用」に関しては全国・三重県の平均正答率を下回りました。特に累積度数の意味を理解しているかみる問題については大きく平均正答率を下回っています。

### 【英語】

本校の平均正答率は、全国・三重県より約4%上回っています。

学習指導要領の領域「読むこと」「聞くこと」「話すこと」について全国・三重県の平均正答率より上回っています。また、「書くこと」は全国・三重県の平均正答率と同等でした。一方で「与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる」問題では全国・三重県の平均正答率より下回っています。

## 生活質問紙からみる本校生徒（3年生）の傾向

生徒質問紙より（一部抜粋）

肯定的回答の割合（%）

質問事項	本校	全国
朝食を毎日食べていますか。	88.4	91.2
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	67.3	78.0
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	84.6	91.3
自分には、よいところがあると思いますか。	82.7	80.0
将来の夢や目標を持っていますか。	67.3	66.3
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	90.4	95.5
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	90.4	94.6
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。（学校の授業の予習や復習を含む）	51.9	55.0
新聞を読んでいますか。	17.3	8.1
読書は好きですか。	65.4	66.0
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	53.8	63.9
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。	73.1	71.6

「自分には、よいところが…」 「いじめは…」 「人の役に立つ…」 について高い数値となっており、自己肯定感が高いことや、多くの生徒が他者を思いやる優しい心を持っていることがわかります。一方で、家での計画的な勉強の数値があまり高くありませんので、入試に向けて計画的な家庭学習に力を入れてほしいと思います。

「新聞を読んでいる」については、中日新聞販売店さんのご厚意で毎朝各教室に新聞が配付されるためか、全国平均よりは高いものの、数値としては低い結果となっています。さらに「地域や社会をよくするために何かしてみたい」の数値も低いことから、新聞をはじめ、テレビ、インターネットなどのマスメディアを通じ、社会情勢への関心を高めたいと思います。